



## 令和8年度 ふくしまの未来をひらく読書のカプロジェクト

### 読書活動支援者育成事業 会津地区研修会

日時 令和8年7月31日(金) 13:20~16:20

会場 福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター 参加者 57名



#### ☆講話☆ 「学校図書館の新たなカタチ」

大熊町立学び舎ゆめの森 校長 志賀 仁 氏

##### ・読書のまち おおくまの歩み

大熊町には、昔から住民と行政が共に紡いできた「読書文化」があった、そのため、「本を通じた学び」の保障の意識は、震災・全町避難の中でもブレなかった。

##### ・学び舎ゆめの森の学校図書館「わくわく本の広場」について

壁や重い扉がないオープンスペースの中心に位置している。集会や様々な式典等もこの場所で行っており、図書室が教育活動の中心に位置づけられている。



【 志賀 仁 氏 】

##### 【ゆめの森「わくわく本の広場」3つの挑戦】

##### ①0~15歳の切れ目のない読書教育

…同じ空間で本と出会うことで、異年齢の自然な交流が生まれる。成長に合わせた読書教育を行うことが可能。

##### ②独自の分類方法

…一般的なNDC分類ではなく、子どもの興味関心に合わせた独自のジャンル分けを行っている。

##### ③ボランティア団体「くまのポケット」との協働

…20年以上紡がれたボランティアとの関係。読み聞かせやブックトーク、本の整理などを行っている。避難先から活動に参加される方もおり、震災を経てなお地域と学校との繋がりの場となっている。

#### ★ 参加者から

- 学び舎ゆめの森の0~15歳までの切れ目のない一貫した教育と読書活動が素晴らしかったです。
- 大熊町が「最近どんな本を読んでいますか？」を挨拶代わりに、「本を愛する町」を目指されているということを知り、読書を中心においた町づくりへの深い思いを感じました。その思いが、震災で途切れることがなかったことに感動しました。
- 読書活動支援にボランティア、教員、司書の方、町民の方が熱意をもって取り組んでいるすてきな町だと感じました。
- 志賀先生のお話がわかりやすく、熱い思いを感じられる良い時間でした。読んでいただいた学び舎ゆめの森の司書の先生のお手紙も素敵でした。「大人が楽しく本を読む姿」を見せられるように頑張ります。
- 司書補として責任の重さを改めて実感しました。本を読ませる、本に触れさせる機会を作ることに取り組んでいましたが、「子どもの目線で子どもの言葉で」を参考に2学期以降取り組んでいきたいと思いました。



- 図書館が校舎の中心にあるという構造に関心がありました。読書教育に注力されてきた大熊町の長年の取り組みに敬意を表し、今後の活動の糧にしていきたいと思います。
- 読書活動が単に読書量を増やすことではなく、学びを支えていくことにつながるということが印象に残りました。



# ☆講義・演習☆「読み聞かせで心に虹を」

心に虹のおはなし会 会長 佐藤 敏子 氏・心に虹のおはなし会の皆さん



## 【 講 義 】

### ・はじめに（団体の概要と歴史）

平成15年結成。平成21年「心に虹文庫」開設。現在は11名で活動。  
月1回の定例会、年間30回のおはなし会を開催。

### ・主な活動場所

喜多方市立山都小学校、児童クラブ、喜多方市立図書館、福島県立博物館などで活動している。

### ・活動の基本方針

絵本を用いた読み聞かせだけでなく、手作りの手袋人形、エプロンシアター、耳だけでお話を聞く「昔話」、「ブックトーク」も重視。歌遊びも入れて構成を工夫している。

### ・喜多方市立山都小学校での読み聞かせ

平成23年より開始し、今年で15年目を迎える。  
記録簿の作成や選書の工夫などを継続しながら実施している。

### ・長期休業中のおはなし会（春休み・夏休み）

山都公民館で年2回開催。毎回40～50名の参加がある。

### ・「心に虹文庫」の運営と蔵書管理、公民館や関係機関との連携

「心に虹文庫」→

## 【 おはなし会の皆さんによる実演 】



←大型絵本



手袋人形→



←↑歌遊び



「夏休みおはなし会の様子」



「山都公民館図書室の様子」↑



↑エプロンシアター「3まいのおふだ」

これまでの制作物を会場後方に展示↓



## ★ 参加者から

- 長年おはなし会に携わっている方々の実践だったので、とても興味深く拝見させていただきました。長いプログラムの中でも、聞き手が飽きないよう、多彩な内容で構成されていると感じました。
- 実際に熱演を見せていただき、どれも素晴らしかったです。手作りが素晴らしいですね。今後の活動の参考になりました。
- 長い間続けてこられたことに感銘を受けました。読み聞かせだけでなく、本に興味をもたせるための手作りエプロンシアターなどの工夫で、子どもたちが「また見たい、読んでみたい」と思いますね。
- エプロンシアターの作品が素晴らしかったです。自分たちで作られていて、チームワークの良さが伝わりました。

※ 後半の記事は研修会の写真と合わせて、事前取材の写真を元に構成しています。

おはなし会の皆さん、山都公民館の皆さん、研修前の取材にご協力いただきありがとうございました。